

2021.04.24 シニアクラブ zoom ミーティング報告

「歌・音楽」をテーマに開催された今回のミーティングでは13人が参加、自慢のレコードやオーディオシステムなどの紹介をもらいました。「とり」として浅見さんには歌謡曲の歴史をひもとき、ギターを伴奏に何曲もの歌を披露してもらいました。

オンラインでは観客の反応が分かりにくいのが難点です。コロナが退散した暁には浅見さんのギターに合わせてどこか広い場所でみんなで大きな声で歌いたと思います。

今回は戦前版でしたが、次の機会には戦後版も期待しています。

2021.04.25 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周

シニアクラブと音楽



とき 2021年
4月24日

場所 zoom会合



「歌でたどる昭和史」のご案内

1. 昭和の時代を流行歌と共に振り返ります
2. ほぼ5年単位で話を進めてまいります
3. 世相の説明は多分に個人的見解です
4. 厚かましくも歌など沢山唄います
5. 良かったら一緒に歌って下さい(ミュートをよく)
6. 本日は「戦前編」です(昭和元年～太平洋戦争終戦まで)

その頃の歌

■古賀政男の出現(歌謡曲の父)

- ・「酒は涙かため息か」
- ・「サーカスの唄」
- ・「東京ラプソディー」
- ・「丘を越えて」
- ・「人生の並木道」
- ・「男の純情」
- ・「影を慕いて」
- ・「青い背広で」
- ・「二人は若い」...

■多様化と大ヒット

- ・「小さな喫茶店」曲:F.Reymond、訳詞:瀬沼喜久雄、1929(S4)
- ・「椰子の実」詞:島村藤村、曲:大中寅二、歌:東海林太郎、1936(S11)、国民歌謡
- ・「無情の夢」詞:佐伯孝夫、曲:佐々木俊一、歌:児玉好雄、1935(S10)、S36佐川満男
- ・「赤城の子守歌」詞:佐藤惣之助、曲:竹岡信幸、歌:東海林太郎、1934(S9)映画
- ・「東京音頭」詞:西条八十、曲:中山晋平、歌:小唄勝太郎、1933(S8)空前の大ヒット

■慶応vs早稲田「応援歌」物語

- ・「若き血」詞:堀内敬三、曲:堀内敬三、歌:藤山一郎
- ・「紺碧の空」作詞:住治夫、曲:古関裕而、歌:伊藤久男



浅見憲一

世相(昭和6年～10年)

元年 1926	2 1927	3 1928	4 1929	5 1930	6 1931	7 1932	8 1933	9 1934	10 1935	11 1936	12 1937	13 1938	14 1939	15 1940	
	■昭和金融恐慌03	■張作霖爆殺事件06	■世界恐慌09	■昭和恐慌	■満州事変09	■五・一五事件 ■リットン調査団来日02	■国際連盟脱退02	■中国反日で統一戦線 ■電審百万台普及	■満州国皇帝来日 ■東北冷害で大凶作 ■改正出版法08 ■電審百万台普及	■満州国皇帝来日	■二・二六事件	■盧溝橋事件07 ■近衛内閣誕生06	■国家総動員法公布04	■第二次世界大戦始まる04	■日独伊三国同盟09
	■モボ・モカ ■日本ビクター蓄音器機	■ラジオ50万台普及			■映画トーキー化		■「東京音頭」熱狂的流行	■「ハーゲンベック」サーカス来日02							

- 軍部の独走と強まる軍事色
- 不況と凶作による閉塞感
- さらに娯楽に酔う庶民

赤城の子守歌
映画「浅太郎赤城の唄」主題歌
作詞:佐藤惣之助
作曲:竹岡信幸

泣くなよよしよし ねんねしな
山のからすが啼いたとて
泣いちゃいけない ねんねしな
泣けばからすが また騒ぐ
坊や男児(おとこ)だ ねんねしな
親がないとて 泣くものか
お月さまさえ 只ひとり
泣かずにいるから ねんねしな
にこり笑って ねんねしな
山の土産に 何をやろう
どうせやくざな 犬張子
もってやるから ねんねしな

東海林太郎(D1934S9)



浅見憲一

浅見さん、お疲れさまでした。

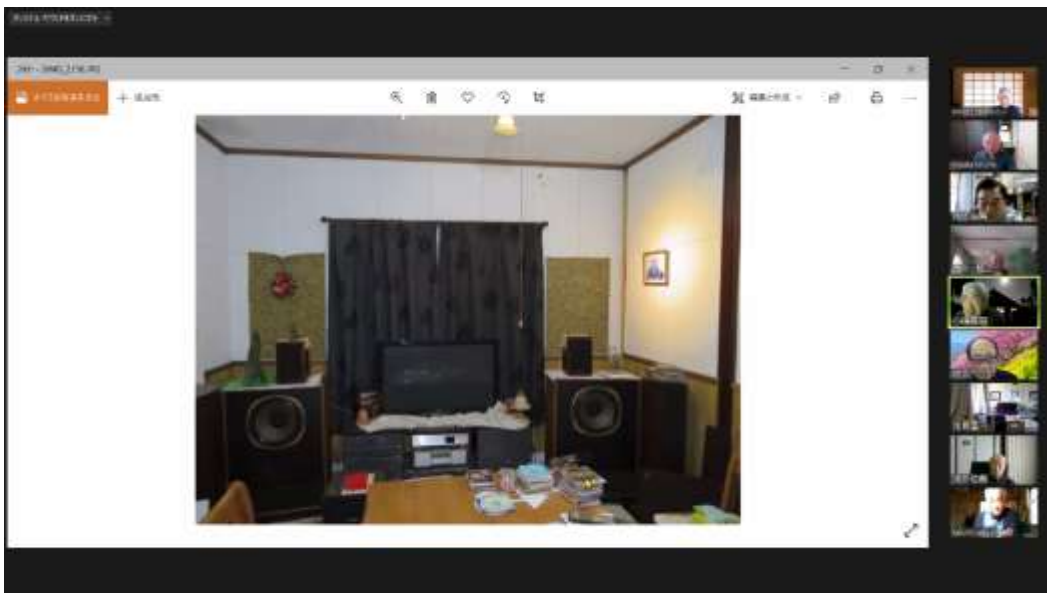
参加された皆さんから思い出のレコードやご自慢のオーディオシステムを紹介していただきました。



初めてのアメリカ出張の時に購入したレコード



幼い頃の記憶「リンゴの唄」



自作のオーディオルーム



ご自慢のコレクション